

特集

「観光DX」を实践するシステム

人手不足や増え続けるインバウンドへの対応など、旅館・ホテルが直面する課題の解決に、デジタル技術を生かしたさまざまな商品・サービスが提供されている。ここでは「観光DX」を实践するための各種システムを紹介する。

タップ

サービスと生産性を同時に向上

DX化支援

ホテル・旅館専門の総合エンジニアリング会社であるホテル三日月では、QRリストバンドの導入。QRリストバンドのタップ(東京都江東区、ツクインシステム(自動ユースメント施設内の飲食店)は、龍宮精算機(温泉施設専用自動精算機)、自動QRリストバンド券売機、入退場ゲートを統合運用できるシステムをタップ社のエンジニアリング技術で統合運用できることが導入の決め手になった。人を増やさずにサービスと生産性の双方を同時に向上させることができた。

同ホテルは、ホテル棟「龍宮亭(全253室・うち特別室80室)」、ホテル棟「富士見亭(全219室・うち貴賓室12室)」、温泉施設「スパ棟」、アミューズメント施設「お祭りランド」、敷地内に宿泊施設2棟「屋外・屋内プール」、棟と日帰りが可能な温泉施設を備えており、連休や夏休みなどの繁忙期における各フロアの混雑緩和が課題だった。そこでDXにかじを切った。タップ社に相談し、アルメックス社のセルフチェックインシステムや自動QRリストバンド券売機と入退場ゲートを

導入。QRリストバンドでは、温泉施設内やアミューズメント施設内の飲食店もほとんどがキャッシュレスで利用できるようになった。異なる社のシステムをタップ社のエンジニアリング技術で統合運用できることが導入の決め手になった。人を増やさずにサービスと生産性の双方を同時に向上させることができた。



人材不足・生産性向上・顧客体験価値向上をDXで解決する

沖縄県うるま市 IT津梁パーク内に開設
宿泊・観光産業に特化した日本初の実証実験施設

Tap Hospitality Lab Okinawa
タップホスピタリティラボ沖縄



施設詳細は公式ウェブサイトをご確認ください
<https://www.thl.jp/>

